

非カルシウム性金属型リン吸着薬の Ca 代謝の違い

長崎腎クリニック 長崎腎病院
○橋口純一郎 原田孝司 船越哲

【目的】

現在、わが国で上市されている 3 種類の非カルシウム性金属型リン吸着薬投与が、血清 Ca 値へどのように影響するかを検討する。【方法】対象はカルシウム含有リン吸着剤およびビタミン D 製剤の投与量変更がない血液透析患者。クエン酸第二鉄 (17 名)、炭酸ランタン (13 名)、スクロオキシ水酸化鉄 (7 名) を 12 週投与し、血清補正 Ca 値を測定する。

【結果】

クエン酸第二鉄投与開始前のベースラインの血清補正 Ca 値: $9.0 \pm 0.48 \text{mg/dl}$ であったが 4 週間目から漸増し、8 週後 $9.15 \pm 0.40 (p < 0.05)$ 、12 週後 $9.31 \pm 0.54 (p < 0.05)$ と有意にベースラインから上昇していた。炭酸ランタンとスクロオキシ水酸化鉄では有意な上昇は認めなかった。

【考察】

ランタンでは Ca 上昇認めないので、金属イオンが高 Ca を起こす原因ではない。また同じ鉄含有製剤でもスクロオキシ水酸化鉄も Ca 上昇がないので、クエン酸が原因の可能性はある。

【結論】

透析患者へのクエン酸第二鉄の中期的な投与は、血中カルシウム値を上昇させる。